

2019 年度 出前授業メニュー

表現文化学科

■西大寺のはじまりと奇跡の物語

『備前国西大寺縁起絵巻』（室町時代原作）には、西大寺のはじまりと数多の奇跡が表現されています。その詞と絵から、当時の人々の信仰をのぞいてみます。

担当：川崎 剛志（教授 担当科目：日本文学 他）

■文学の課題を読み解く

夏目漱石、太宰治、村上春樹、これらの作家の作品を、「自分を確認する作業」というテーマで読み解いてみます。自分たちに身近な問題が、これらの作品に込められていることを確認してみましょう。

担当：松尾 直昭（教授 担当科目：近現代文学講義 他）

■書籍メディアと庶民文化—草双紙から電子書籍まで—

江戸時代の草双紙、昭和 20 年代の講談本など現物の資料をもとに書籍メディアの変容の様子を概観し、それら資料から読み取れる庶民文化のありかたの変化を考えます。

担当：中西 裕（教授 担当科目：情報と文化 他）

■身体で伝える 身体が語る

国籍を問わず誰もがもつ身体。身体は時に饒舌で、うまく言葉にならないときや、もどかしく通じ合えない場を一転させる力をもっています。簡単な即興ワークを楽しみながら、自らと他者の身体で交換されるエネルギーを観察し、味わってみましょう。

担当：岡本 悦子（教授 担当科目：表現創造 他）

■物語の方程式

物語にはいくつかのパターンがあります。

それらをどのように組み合わせるとどのような効果が生まれるかを考えていきます。例えば——

○物語の中に物語をつくった自分をくみこむとどうなるか

- 自分がつくった物語を自分で終わらせることができるか
 - どうすれば自分が存在しているのとは異なる時空に存在したものを理解できるか
- こういったことについて考えながら、みなさんといっしょにいろいろな物語を読んでいきます。

担当：松本 潤一郎（准教授 担当科目：言語表現史 他）

■外国人学習者の誤用例からみる日本語の世界

日本語を学ぶ外国人学習者は、日本語母語話者がすることのない間違い（誤用）をします。その誤用を分析するとさまざまな日本語の特徴が見えてきます。

担当：中崎 崇（准教授 担当科目：日本語学 他）

■モノの伝えられ方

江戸時代の岡山藩主池田家が所蔵していた膨大な文化財が、明治時代以降にどうなったのかを例に、資料の伝えられ方を探ります。

担当：浅利 尚民（准教授 担当科目：博物館資料論 他）

■日本語の歴史を辿る

中高で学ぶ古典語は、「使われなくなった言葉」と思っていないですか？ 実は、現代語の中にも沢山の古典語が形を変えながら息づいています。この講義では、古典語と現代語の繋がりを見ながら、「言葉の変化」について考えていきます。

担当：岩田 美穂（准教授 担当科目：日本語学 他）

■『源氏物語』のことば

『源氏物語』には美しいことばや優れた表現がたくさん出てきます。これらはすべて作者が考えたオリジナルなのでしょうか？ オリジナルでないとすると、どういう人が使っていたことばなのでしょう？ そのような視点で『源氏物語』のことばを見ると、物語の解釈まで変わってきます。「ことば」に焦点をあてながら、『源氏物語』の魅力にふれてみましょう。

担当：瓦井 裕子（講師 担当科目：日本文学 他）

■ 近世小説のことば

近世小説（江戸時代の小説）には、古典文学の世界を背景に持つことばが多く使われています。そうした表現をひとつひとつ丁寧に解きほぐしていくと……。いま読んでいる物語が、まったく違った姿を現すはずですよ。

担当：丸井 貴史（講師 担当科目：日本文学 他）

実践英語学科

■ “ポピュラーソング” Tom’ s Diner” を通じて英語を学ぼう

音楽を聞いて、歌詞を聞き取り理解します。その後その歌の内容についての理解を深めます。グループごとの活動で勝敗を競うという、英語のリスニングから理解までがゲーム感覚で学べる授業ですよ。

担当：ジェニファー・スコット（教授 担当科目：英語ライティング 他）

■ アメリカ文化と音楽

アメリカの代表的な音楽を紹介し、それについての背景を説明します。また音楽を使い、英語のゲームを行います。

担当：ローレンス・ダンテ（教授 担当科目：英語教育 他）

■ 多義語の問題

ひとつの英単語に複数の意味があることはよくあります。その意味と意味の関係はどうなっているのかを考えてみたいと思います。

担当：小田 希望（准教授 担当科目：英語学 他）

■ 通訳の世界へようこそ

通訳とはどのような仕事でしょうか？英会話や翻訳との違いは何でしょうか？奥の深い通訳の世界を、実際に携わった仕事のエピソードを交えながら、楽しく体験してみよう。

担当：武部 好子（准教授 担当科目：通訳・翻訳 他）

■英語の姿かたちを削り出す

英和辞典でひとつの語の使い方を観察すると、英語を母国語とする人々がその語の姿かたちをどのように捉えているのかが見えてきます。英和辞典を片手に、その姿かたちを捉えてみましょう。

担当：西谷 工平（准教授 担当科目：英語学 他）

総合歴史学科

■21世紀の蘭学事始

オランダ語は死語ではありません！今でも2千万人以上の人が使っています。日本とオランダ語との関係、蘭学の歴史的役割などについて話します。

担当：櫻田 美津夫（教授 担当科目：西洋史 他）

■都市発達史からみる港町神戸と横浜の都市構造について

ともに明治期に開港後、外国文化が流入して栄えた港町であります。そのことが両都市の現在の街の様子や魅力に大きく影響していることに着目しながら解説します。

担当：吉本 勇（教授 担当科目：歴史遺産 他）

■イスラームを知ろう

ノーベル平和賞受賞者マララ・ユースフザイさんはなぜテロにあったのか、という問いから始めて、現代のイスラームについて女性の視点を交えて考えましょう。

担当：井上 あえか（教授 担当科目：アジア史 他）

■中世の荘園を理解する

高校の日本史でも難しいとされる荘園の成り立ちやしくみについて、具体的な例をあげながら、わかりやすく解説します。

担当：苅米 一志（教授 担当科目：日本史 他）

■ 社会学を学びたい人のために～社会学入門～

「社会」の仕組みや関係性について考えたり調べたりする学問が社会学です。日常生活や社会的な問題を捉えるうえで役立つ視点を紹介します。

担当：中塚 朋子（准教授 担当科目：社会教育演習 他）

■ 出土文字資料よりみる秦の始皇帝

秦の始皇帝の実像や当時の政治・社会の特色について、最新の出土文字資料（竹簡・木簡など）を用いて解説します。

担当：渡邊 将智（講師 担当科目：アジア史 他）

■ 近世都市大坂における庶民の暮らし

江戸時代には、親孝行な人物や忠勤な奉公人がしきりに褒賞されました。その関連史料からは、様々な職業にたずさわりながら日々を送る庶民の姿が見えてきます。これらを利用して、男性と女性のライフサイクルを具体的に考えてみたいと思います。

担当：三田 智子（講師 担当科目：日本史 他）

初等教育学科

■ おもしろ理科実験&工作

身近なものを使って簡単な理科実験や工作を楽しんでみましょう。大人も子どももサイエンスレンジャーがコツを伝授いたします。

担当：福井 広和（教授 担当科目：理科教育法 他）

■ 記憶の心理学

ひとくちに「記憶」といっても、さまざまな種類の「記憶」があります。この講座では、ワーキングメモリの性質を学びます。そして、それらをふまえた学習支援のコツを考えましょう。

担当：原 奈津子（教授 担当科目：生徒・進路指導論 他）

■ 幼児の造形「表現」とは

子どもの造形活動は、大人のそれとは目的が大きく異なります。「表現」という視点を大切にして、子どもの造形を体験してみましょう。

担当：藤田 知里（准教授 担当科目：幼児の造形表現 他）

■ ストレスと健康と幸福

働くことや生きることのストレスを考え、健康と幸福について考えてみましょう。

担当：高木 亮（准教授 担当科目：教師論（初等） 他）

■ 幼少期の運動の重要性

幼少期の運動不足により、子どもの体力が低下しているといわれています。なぜ運動不足が起こっているのか、幼少期の運動不足の弊害などを軽く体を動かしながら考えてみましょう。

担当：飯田 智行（准教授 担当科目：体育科教育法 他）

教育心理学科

■ ストレスとうまく付き合おう

私たちは、ストレスの原因を全て無くすことはできません。ですが、ストレスの仕組みを知れば、少し上手く付き合うことができるのではないのでしょうか。ストレスとの付き合い方を考えてみましょう。

担当：石原 みちる（教授 担当科目：発達心理学 他）

■ がん教育 子どものがんについて考えてみよう

がんは大人だけの病気ではありません。

子どもの時にがんになって、治療を終えて学校に戻り勉強している子ども達は沢山います。その様タイトル：障がい理解への一歩 ー特性を知ろうー

担当：森口 清美（准教授 担当科目：看護学概論 他）

■ 心とからだのワーク

「心とからだのケア」や「心理療法」は、「言葉で話すもの」というイメージが強いですが、身体的なアプローチも多くあります。自分の内側を感じる、気持ちやイメージを表現する、などのワークを実際に体験しながら、心身の深いつながりに気づき、考えてみましょう。

担当：山田 美穂（准教授 担当科目：カウンセリング演習Ⅰ 他）

■ 運動と脳の健康

運動は脳の働きによるものであるが、運動をすると心がすっきりすることがある。運動が、脳に働きかけていることが分かる瞬間である。運動は脳の健康にどのように関わっているのだろうか。運動と脳の健康について考えてみよう。

担当：森村 和浩（講師 担当科目：身体運動と健康の科学 他）

■ ものの見方を見る見方

内容：同じものを見ていても、その捉え方は一人ひとり異なるかもしれません。コミュニケーションやカウンセリングを例に、そうした違いの理由と、主観性に寄り添うことの奥深さについて考えてみましょう。

担当：井芹 聖文（講師 担当科目：カウンセリング概論 他）

薬学科

■ 私が使っている薬はどのように生まれたのかしら

日米欧の各国は、皆さんが、副作用が少なくより高い効果が期待される薬のみを使えるように努めています。世界が求める新しい薬について説明します。

担当：西村 多美子（教授 担当科目：医療系薬学 他）

■ やさしい遺伝子診断と遺伝子治療の話

ヒトゲノムの解明で進む遺伝子診断や遺伝子治療の様子を、最近話題の個別化医療も含めてわかりやすく解説します。

担当：中西 徹（教授 担当科目：生物系薬学 他）

■ 科学系、医療系を目指す人たちへのキャリア教育

理科、特に科学系、医療系職業を目指す生徒さんに、具体的に職業の内容、必要な技能や資格、心構え、勉強方法などについてやさしく解説します。

担当：中西 徹（教授 担当科目：生物系薬学 他）

■ 身近な感染症の話 ～正しく知って，正しく防ごう～

冬期に猛威をふるうインフルエンザやノロウイルス、若者の間に広がる性感染症など、私たちの身近には多くの感染症が潜んでいます。どのようにしたら感染症がおこるのか、予防対策、薬の正しい使い方、注目すべき感染症のトピックスなどをわかりやすくお話します。

担当：塩田 澄子（教授 担当科目：生物系薬学 他）

■ 知ってほしい！薬物乱用の怖さ

薬物乱用は心身を著しく害し、本人だけでなく家族や周囲の人たちにも多大な悪影響をもたらします。薬物乱用防止教育の観点から、薬物依存に至るメカニズムや症状を中心に話します。

担当：小野 浩重（教授 担当科目：臨床系薬学 他）

■ 薬剤師になるために

皆さんは薬剤師に対してどのようなイメージをもっていますか？薬剤師が取り扱う「くすり」の役割、効果や副作用のほか、これから薬剤師を志す生徒さんに中学校、高校でどのようなことを学んでほしいか等についてお話します。

担当：柴田 隆司（教授 担当科目：臨床系薬学 他）

■ 抗インフルエンザ薬、タミフルはどのようにして誕生したのか？

薬を創ることの難しさを解説しながら、インフルエンザウイルスの増殖を抑える薬であるタミフルがどのようにして効果を示すのか、そのメカニズムの解説とその誕生の経緯について紹介します。

担当：平岡 修（准教授 担当科目：生物系薬学 他）

■ 酸素は毒だ

普段何気なく吸っている酸素は動物の生命維持に不可欠ですが、活性酸素に姿を変えると様々な毒性を示します。活性酸素の毒性や有益な作用を解説し、酸素と寿命の関係や、動物が酸素の毒性をどのように回避しているかを紹介します。

担当：平本 一幸（准教授 担当科目：衛生化学 他）

経営学科

■ 思考発想法

我々の発想が本当に自由なのか、自由にするにはどうすればいいのか。限られた制約条件の中でも問題を適切に解決して行くための思考はどんなもの？これを討論の中から一緒に見つけ出します。

担当：三枝 省三（教授 担当科目：イノベーション、思考発想法、技術経営 他）

■ ドラッカーを理解し明日の経営を創る

ドラッカーの人生と業績をたどり、ドラッカーがいかに自己の思考形態を確立していったかの背景を探るとともに、どのような概念を構築したかを理解します。そのうえで、ドラッカーの思考形態を適用し、変動する社会で組織がどのように適応していけばよいかを探ります。

担当：野本 明成（教授 担当科目：マーケティング・リサーチ 他）

■ 仏壇業のマーケティング戦略

マーケティング戦略の具体的な適用を事例でもって説明します。衰退著しい日本の仏壇業の現状を観察し、仏壇業が抱える様々な課題を明らかにします。そして、その課題解決のための一方法を考えてみます。

担当：野本 明成（教授 担当科目：マーケティング・リサーチ 他）

■ マーケティング・リサーチ入門

マーケティング戦略を創るためには、その事業の置かれている現状を探る必要がある。そのためには、その事業領域の現状についての情報を収集し、分析する必要があり、そのための手法について簡潔に説明を行う。

担当：野本 明成（教授 担当科目：マーケティング・リサーチ 他）

■ お金の役割と経済のしくみ

私たちの日常生活、企業や政府の活動は、全てお金や経済に関わっているといっても言い過ぎではありません。経済の知識を身につけることは、より豊かな生活を送る知恵でもあります。複雑に絡み合っている現実の経済は捉えどころがありませんが、経済のしくみについての大きな見取り図を示し、その中で「お金」が果たしている役割についてお話します。

担当：大崎 泰正（教授 担当科目：マクロ経済学 他）

■ 日本の食料自給率と世界の食料問題

日本は食料自給率が低くても仕方がない要因をもっています。この要因を解説するとともに、1960年以降、食料自給率が低下した要因を解説します。そして、この低下した要因が開発途上国の食料不足・栄養不足と関連していることを解説して、われわれの食生活を考えます。

担当：古塚 秀夫（教授 担当科目：農業経済学 他）

■ データサイエンスのススメ

世の中は沢山のデータで溢れています。しかし、その中には意図をもったデータや誤った解釈、本来とは異なる印象を与える表現等も混在しています。本講義では、情報があふれた社会を賢く生活していくために、身近なデータを見直し、それらの真意を解釈し、自分の判断や行動に役立てることができるように、データをサイエンスする姿勢を指導します。

担当：林 俊克（教授 担当科目：サービス工学論 他）

■ 観光学入門

人はなぜ旅に出るのでしょうか。古来より、人はさまざまな理由や目的で居住地を離れ、移動するということをしてきました。グローバル化を迎えたこんにち、国境を越えて移動する人の数はますます増加傾向にあります。この講義は観光学の入門として、観光の現状と新たな動向を紹介します。特に観光者である『ゲスト』の行動に着目しその動機づけと、観光者を迎える地域や社会といった『ホスト』とのインターラクティブな関係について、文化人類学的な視点で考察を試みます。それを通じて、観光者にとって魅力ある観光地とはどのようなものかを考える方法としての基礎的な知識を紹介します。

担当：八巻 恵子（教授 担当科目：観光経営 他）

■ 地域の魅力を伝える 地域とマーケティング

ゆるキャラブームに B-1 グランプリの盛り上がりなど、社会的に「地域」への関心や期待が高まっています。しかし一方で、地域（とくに地域経済）の疲弊や衰退は深刻です。今、求められているのは、地域の魅力を打ち出し、地域を活性化させるさまざまな取り組みです。そうした方法について、具体例を交えながらマーケティングという視角から考えます。

担当：加賀美 太記（准教授 担当科目：地域経営 他）

■ 管理会計と企業管理

会社が生き残るために「もうけ」は欠かせません。では、もうけを出すために、会社はどのような工夫をし、そのことに会計はどう関わってきたのでしょうか。また、社会が変化していく中で、これからの会社を支援する会計のしくみはどのようなもののでしょうか。管理会計の視点から考えます。

担当：鈴木 新（准教授 担当科目：管理会計 他）

■ 家電流通史から見るタテの競争

企業間競争という場合、同種の製品を作る企業同士が製品の機能や価格などで優劣を競っていること（ヨコの競争）をイメージされることが多いのではないのでしょうか。本講義では、家電流通の歴史を題材に、取引相手との利益の奪い合いの在り方がどのように変遷してきたのか（タテの競争）という点を中心に検討していきます。※消費者行動論の入門講義も承っております。

担当：青山 允隆（准教授 担当科目：消費者行動論 他）

■ 企業経営における経営者の役割と能力は何か？

企業の目的を達成するには、経営者の役割が大切です。経営者はリーダーとして、企業の方向を決まり、重要な戦略的意思決定を行います。企業を効果的に引っ張って行くため、経営者に求められる能力を説明します。事例を通して、理解を深めます。

担当：金 素延（講師 担当科目：経営学入門 他）

■ 戦略とはなにか？：市場競争の中の企業

企業経営にとって最も根本的な問題は、製品やサービスが売れる仕組みを考え、その仕組みが実際に「動く」ようにすることです。そのためには、お客さんや協力者、ライバル、行政といった他者の事情を考慮し、その反応に対処することが必要です。戦略とはそうした他者とのやり取りをどうにか上手く切り抜ける（manage）方策に他なりません。この講義では、企業戦略の基本的な考え方について具体例を交えつつ講義します。

担当：大倉 健（講師 担当科目：経営戦略 他）

■ よい企業の条件とは

「よい企業とはどのような企業か」と問われた時、皆さんは何と答えますか。一昔前までは「利益を多く稼ぐ企業」がよい企業だとされてきましたが、現在では少し状況が変わってきました。

「どれくらい稼いだか」という点も重要ではありますが、今では「どのように稼いだか」という点がより一層大切になってきています。例えば、100億円の利益を稼ぐ裏で、環境破壊をしていたとしたらどうでしょうか。本講義では「よい企業の条件」「企業の究極的な目的」を考えてみたいと思います。

担当：大塚 祐一（講師 担当科目：経営組織論 他）

■ はじめてのマーケティング - いかに関「差」づくりをするか -

普段、何気なく手にしているモノは、単にお店に並んでいるだけではなく、そこに至る過程において、多様な方法を通して、多くの消費者に注目してもらえるように企業（会社）は日々取り組んでいます。企業は「消費者とどう向き合っているのか」について、マーケティングの視点から考えていきます。

担当：寺前 俊孝（講師 担当科目：消費者行動論 他）

■会社はどんなことにお金を使っているの?-財務諸表から企業の活動を読み取る-

大きな会社は、様々な人々からお金を提供してもらって様々な活動を行っています。たとえば、車を売っている会社であれば、車を作るのに必要な材料を仕入れて、材料を加工し、それを組み立てて、車が完成したら、その車の宣伝をして、ショールームで車を販売していますよね。世の中には様々な会社があるので、行っている活動も色々あります。会社の活動の元手となるお金が、実際に会社でどのように使われているのかは、皆さんにとっても気になるところではないでしょうか？実は、会社がどのようにお金を使ったかは皆さんでも知ることができます。この講義を通じて、ある会社でどのようにお金が使われたのか、自分で読み取れるようになることを目指します。

担当：増子 和起（講師 担当科目：財務会計 他）

幼児教育学科

■職業人としての保育者の魅力

人生の中で、家族以外に最初に出会うのが保育者です。その保育者は、子どもの命を守り育てていくという重大な責任を担っています。その仕事は大変ではありますが、やりがいがあります。そうした保育者の魅力に迫ります。

担当：澤津まり子（教授 担当科目：保育原理、乳児保育、保育所実習 他）

■これからの時代を生きていく君たちに必要なこと(キャリア教育)

素晴らしい可能性を持った若者たちの多くは「磨かれないまま」または、「何をどう磨くのか見いだせないまま」何かしら自信なさげに生きていることが多いようです。しかし、私が今まで出会った小学生から大学生たちの中には、日々の習慣を見つめなおし、積極的に「人と、社会と、自然とつながる」ことで奇跡的な変貌を遂げていった人が数多くいます。knowing the good, loving the good, doing the good. 君の可能性を開花させる学びを、さあ始めよう!!

担当：小谷彰吾(教授 担当科目：教師論, 教育原理, 教育行政論, 幼稚園実習 他)

■福祉の資格(保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士)と仕事の将来

昨今、人工知能(artificial intelligence : AI)やロボット技術の進歩によって将来なくなる職業が取り沙汰されるようになりました。しかし、福祉の仕事や資格は将来なくなる職業には入っていません。そこで、福祉の仕事や資格が将来どうあるのか、一緒に考えてみましょう。

担当：土田耕司（教授 担当科目：社会福祉、子ども家庭福祉、相談援助、社会的養護Ⅰ他）

■アート入門：2000年後を紙にうつそう！

私たちの身近にある日用品が2000年後に発掘されたら、一体どうなっているのでしょうか。2000年後の未来を想像しながら、身近な物を「紙の化石」にしてみましょう。

※約20人までのワークショップ形式、材料費等については要相談。

担当：柴川敏之（教授 担当科目：図画工作 他）

■ヴォーカルトレーニング

正しい腹式呼吸と発声法によって、より豊かな歌声を作るための歌唱実技を行います。また、歌うために必要な姿勢や筋力など、身体の機能を高めるトレーニングを実践します。」

担当：ズビャーギナ 章子(准教授 担当科目：音楽Ⅰ、音楽Ⅳ、音楽Ⅴ 他)

生活実践科学科

■「ら抜き」って何？

時々メディアで「若い人のら抜き」が取り上げられています。ところで、「ら抜き」は正確にはどのような現象を指すのでしょうか。岡山育ちの人にはピンとこないはずです。

担当 森安 秀之（教授 担当科目：英語 他）

■多面体の世界

私たちの身近にある立方体や正四面体の中にかくれている不思議な話をします。実際に多面体を作ったりします。

担当：原田 龍宜（准教授 担当科目：情報処理 他）

■ 短歌—創作・鑑賞入門／郷土ゆかりの文学者

高校生を対象として、短歌の創作を基礎から指導します。地元ゆかりの文学者（倉敷市連島出身の詩人・薄田泣菫など）についてもお話出来ます。

担当：加藤 美奈子（准教授 担当科目：日本語表現法、近現代文学講義 他）

■ おいしさの秘密に迫る—うま味の発見とだし

食事の際に、おいしさを判断する決め手となるのが、うま味などの基本味です。うま味とその発見につながった日本の伝統的なだしについてお話をします。

担当：三宅 統（准教授 担当科目：栄養学 他）

■ 賢い消費者市民になろう

消費者被害・事故に遭わない賢い消費者として社会で活躍するために、「消費者」の権利と責任を自覚し、自立した消費者となることの大切さについて学びます。

担当：小田 奈緒美（講師 担当科目：生活経営学 他）